

**次期戦略的イノベーション創造プログラム（次期S I P）**  
**課題候補「サーキュラーエコノミーシステムの構築」に係る**  
**第3回検討タスクフォース 議事要旨**

1. 日時：令和4年7月29日（金） 10時00分～11時45分

2. 場所：Web 会議（Teams）

3. 出席者：別紙のとおり

4. 議題

1. 前回議事録の確認
2. FS 実施体制について
3. RFI のヒアリング実施状況について
4. FS 実施方針案について
5. 今後のスケジュールについて

5. 配付資料

- 資料1 出席者リスト
- 資料2 第2回検討タスクフォース議事要旨
- 資料3-1 FS 実施体制について
- 資料3-2 TF の構成について
- 資料4 RFI のヒアリング実施状況について
- 資料5 FS 実施方針案

## 資料6 FS スケジュール

参考資料1-1 次期 SIP のフィージビリティスタディ (FS) の運営方針

参考資料1-2 次期 SIP 留意事項

参考資料2 「サーキュラーエコノミーシステムの構築」 基本方針

## 6. 要旨

- (1) 研究推進法人からの第2回 TF 議事要旨の確認に続き、伊藤 PD 候補から FS 実施体制・マトリックスマネジメントについての説明がなされた。戦略コーディネーターとして、新たに東京大学 唐沢かおり先生を迎えたことを報告し、了承された。
- (2) 岡部 SPD 候補から、RFI 提出状況として RFI 提出企業の提案内容、評価委員会による採点、各団体へのヒアリング方法、またヒアリングを通じた所感についての報告がなされた。RFI では、省庁が発信しているプラスチック資源循環戦略、循環経済ビジョン等に沿った提案が多く見受けられた。方向性として問題ないことを了承された。
- (3) 研究推進法人から、FS 実施方針についての説明がなされた。ここでは、動静脈連携の実現可能性や、資源循環戦略の野心的な目標に対するアプローチ方法についての質問が寄せられ、ご説明した対応方針で問題ないことを了承された。また、有識者、文科省、経産省、環境省、デジタル庁からコメントをいただき、進め方に違和感ないこと、省庁との協力の元進めていくことを確認した。

- (4) 研究推進法人から、今後のFS実施スケジュールについて、基礎的調査・個別テーマの技術実現性等調査を実施することの説明がなされた。
- (5) 次回TFの日程について、ガバニングボードが9月8日に予定されているため、次回TFは9月8日以降で設定することを確認した。

以上

**【別紙】**

次期戦略的イノベーション創造プログラム(次期SIP)

課題候補「サーキュラーエコノミーシステムの構築」第3回検討タスクフォース 出席者リスト

**【座長(PD 候補)】**

伊藤 耕三 東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授

**【座長代理(サブ PD 候補)】**

岡部 朋永 東北大学院工学研究科 教授

**【戦略コーディネーター候補】**

唐沢 かおり 東京大学大学院人文社会系研究科 教授

**【関係省庁】**

文部科学省 科学技術・学術政策局 研究環境課

経済産業省 製造産業局 素材産業課 革新素材室

環境省 大臣官房総合政策課 環境研究技術室

環境省 環境再生・資源循環局総務課 リサイクル推進室

環境省 自然環境局 自然環境計画課 生物多様性主流化室

デジタル庁 国民向けサービスグループ

デジタル庁 戦略・組織グループ企画・審査担当

**【研究推進法人】**

独立行政法人環境再生保全機構 総務部

独立行政法人環境再生保全機構 環境研究総合推進部

【オブザーバー】

小松 秀樹 株式会社ブリヂストン ソリューション・探索・化工品事業管掌 フェロー

南部 博美 花王株式会社 リサイクル科学研究センター センター長

兼 研究開発部門 研究戦略企画部 リサイクル科学担当部長

高岡 昌輝 京都大学院工学研究科 教授

吉岡 敏明 東北大学院環境科学研究科 教授

【事務局】

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 統合戦略(エネルギー環境)担当